9月FOMCと債券・為替市場の見通し

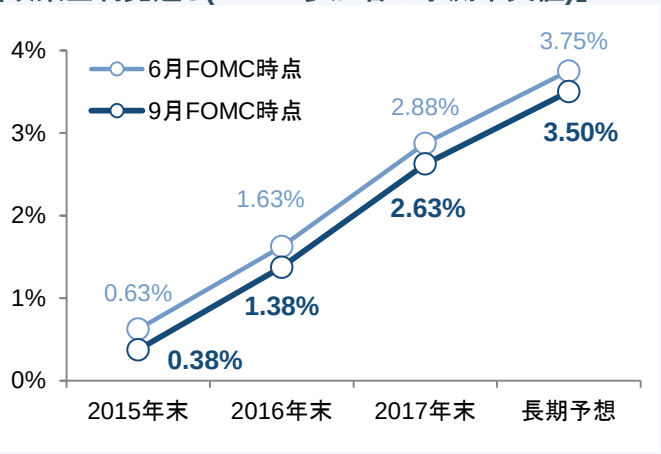
2015年9月18日

情報提供資料

FOMC結果要旨

- **9月の利上げは見送り** ― FRB(米連邦準備制度理事会)は、9月16日~17日に開催されたFOMC(米連邦公開市場委員会)において、ゼロ金利政策の維持を決定しました。声明文には新たに「最近の世界経済・金融市場の混乱が短期的にインフレに対するさらなる下押し圧力をかける可能性がある」との文言が記載され、上記を理由に注目されていた政策金利の引き上げは次回以降に見送られる形となりました。
- **気になる利上げタイミングは?** ― FOMC参加者による政策金利見通しでは、2015年末の予想(中央値)は0.38%と前回6月の予想から下方修正されたものの、依然として多くの参加者が年内の利上げを想定していることが示されました。

【政策金利見通し(FOMC参加者の予測中央値)】

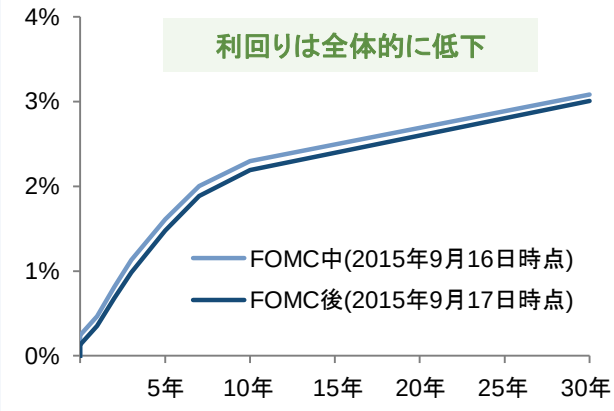


出所:ブルームバーグ　時点:2015年6月17日、2015年9月17日

今後の債券・為替市場の見通し

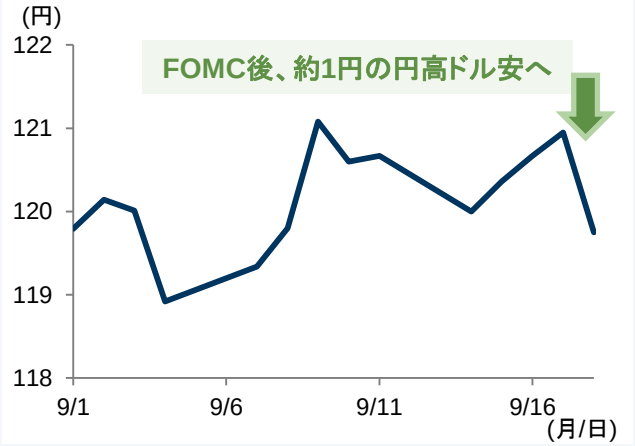
- FOMCのハト派的な声明文を受け、米金利は低下し、為替市場では円高米ドル安の展開となりました。弊社では、米金利について、短期的にはインフレや賃金動向といった指標に左右される可能性を見つつも、中長期的には米金利上昇トレンドが形成されると考えています。また、為替市場に対しては、今回の利上げ見送りで短期的に米ドルが軟調となる展開も見込んでいますが、市場で金利の正常化が意識されるに従い、米ドル高基調へと回帰すると見ています(特に、アジア通貨に対して米ドル高が進行すると予想)。
- 利上げ時期について、弊社では一部で報道されているような10月の可能性は低いと見ており、12月の可能性も五分五分と予想しています。また、初回の利上げよりも、その後の引き締めペースが重要と考えています。

【米国債 利回り曲線】



出所:ブルームバーグ　時点:2015年9月16日、2015年9月17日

【米ドル円為替レート】



出所:ブルームバーグ　期間:2015年9月1日~2015年9月18日

上記は経済や市場等の過去のデータであり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。

Goldman Sachs Asset Management

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、弊社において入手した信頼できると思われる資料に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合もあります。本資料に記載された個別の銘柄・企業については、あくまでも例示をもって理解を深めていただくためのものであり、いかなる個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等の行為を推奨するものではありません。
本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(Ⅰ)複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(Ⅱ)再配布することを禁じます。© 2015 Goldman Sachs. All rights reserved. <14067-OTU-68310>